

入札

町民の声に応えられよ

町長／適法であり問題はない



平田 昇議員

平田 業者が一工事を落札すれば後の工事入札（工区の分割区とは別の工事）に入れない。

規則どおり責任をもつて工事をするのにという悲痛な声がある。

旧宮之城にはなく他の市町村にもないこのやり方を合併後取り込んだ。競争の封殺、談合容認だ。

町長 本町の入札に関する指名は、指名回数等均等を考えながら町が定める要綱により行っております。

これらを補足するため、昨年さらに二つの基準を定め適正化に努めています。

す。

昨年度までの入札状況からダンピングに近い受注も見受けられた事等から、公正、かつ公平な指名業者の選定を行う必要があると考えております。

今後の指名でも、競争性、公平性、更に透明性の確保を図る考えです。

このようなことから、本町の入札のあり方については、地方自治法上、特に問題はないと考えております。

その他の質問
政策推進と予算規模について



町内各地で行われる公共事業

施設管理

行財政改革について

町長／検討委員会等に指示



新改秀作議員

新改 町営住宅、教職員住宅等の管理の一元化及び公園、スポーツ施設、文化施設等の管理公社設立は考えられないか。

町長 一般住宅と公営住宅の管理面の一元化は可能ですが、教職員住宅と改良住宅につきましては、その目的からいって、それぞれの課での管理が望ましいと思います。

管理公社につきましては、公共施設に関する検討委員会に検討を指示しました。

農業振興について

町長／前向きに取り組めます。

新改 農林業中核都市の創造、「薩摩のさつま」ブランド化、耕作放棄地対策及び農業委員の役割についての考えはどうか。



町建設課で管理されている公営住宅

町長 JAさつまを始め各機関と意見交換を行い中核都市創りを進め「薩摩のさつま」ブランド化を進めてまいります。耕作放棄地は、さつま町耕作放棄地対策協議会で検討し、農業委員の件は、国、県の通達どおり活動の強化を図ってまいります。